ISSN 0919-4657

KONC

関西自然保護機構会報

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

19巻1号（通算33号）



1997年6月
関西自然保護機構

表紙の言葉

「アホウドリ」　　写真・文　長谷川　博

東京から南に約600㎞進むと，太平洋の大海原に浮かぶ小さな火山島が見えてくる。その島の名は鳥島といい，百年あまり前まで大集団をなして繁殖していた大型海鳥アホウドリに因んでいる。しかし，そのころから始められた羽毛を採るための乱獲によって，アホウドリの数は急速に減少し，この種は1949年に地球上から絶滅したと考えられた。

さいわい，1951年の初めに，鳥島の南東端の燕崎で10羽ほどが生き残って繁殖していることが確認され，再発見された。その後，ようやく保護されるようになり，個体数は非常にゆっくりではあるが着実に増加してきた。ごく最近の1996－97年繁殖期には，鳥島集団の繁殖つがい数は176組で，90羽のひなが巣立った。総個体数は推定800－850羽である。この集団は毎年6.7％の割合（約10年で倍増）で増加している。

うれしいことに，尖閣諸島の南小島で第二繁殖地が確認された。ここでは約20つがいが10羽あまりのひなを育てている。この集団の総個体数はおよそ100羽である。

アホウドリは今，確実に復活への道を歩んでいる。来世紀の初めには，総数は1,000羽を超え，200組以上のつがいが毎年100羽以上のひなを育てるようになるだろう。そして，北太平洋の海によみがえるにちがいない。

関西自然保護機構（ＫＯＮＣ：Kansai Organization for Nature Conservation）

ＫＯＮＣはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

ＫＯＮＣはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現代，次のような活動をしています。

1．　基礎研究の実施
2．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．　現地見学会の開催
4．　研究助成金の交付
5．　会報・連絡紙の発行
6．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。